



みんなのひろば

温かい子育て 支援に感謝



中原美喜子
(中 村)

大山町で生活を始めて、6年が過ぎようとしています。引越してきた日はよい天気で、まだ雪の残る大山がとても美しく、残る大山がとて美しかったです。

大山町で生活を始めて、6年が過ぎようとしてい... でしたが、子供と散歩すれば近所の方が声をかけて下さり、公民館や福祉センターでもいつも温かく接していただきました。特にふれあい会館は魅力的な所で、親子で何度も足を運びました。

また、町の医療費支援制度やフッ素塗付、育児学級など以前住んでいたところにはなかった子育て支援がたくさんあり、ありがたく思いました。皆さんの支え、そして温かいまなざしがあってこそできています。育てだと感謝しています。

熱中時代 中年編



宮崎 雅一
(大山口新団地)

私は高校時代にバドミントンを始め、「やめたらアカン。頑張る！」と厳しい練習にも耐え、打ち込んできました。それまで野球・卓球・水泳など途中で投げ出してきた中途半端な自分を打破したかったからです。

30代の頃はラケット持参で旅に出て、旅先で練習に参加させてもらうほど燃えていました。今はスポ少で子ども達とバドミントンをしています。練習に夢中になる子ども達の目は、素直で輝いています。また保護

者も子ども達のために一生懸命で頭が下がります。何かにはむしろ頑張ることは素晴らしい。今できることを一生懸命やらずして一体何ができるのか。努力は必ず自分にかえって来る！

うちにおいでよ。 回顧録



松井 雄二
(下市駅前)

以前、酪農家に嫁いで26年のお嫁さんの記事を読んだことがあります。記事のタイトルは「うちにおいでよ。」でした。「家においでよ。」「こっちにおいでよ。」「町においでよ。」って、みんなで誘い合えれば、私たちの町はきつと活気に満ち溢れて、楽しいでしょうね。

昔、出逢う人に「元気!?」って声を掛ける明るい女の子が居ました。仲間達は、その「元気っ子」から、いっぱい活力を授かったものです。駅舎の数は、大山口・名和・御来屋・下市・中山口と、鳥取市に次ぐほど保有してるんだ。突然、そびえ立った風

車の数だって、その下のブロッコリー達だって、日本一かもしれない。道行く子ども達や、日向ぼっこをしているおばあちゃんに「元気!?」って、挨拶するだけで、「元気っ子世界一」の町になれるかもしれない。可能性に、みんなで向かっていくと楽しいでしょうね。

あとがき

明けましておめでとうございます。皆様お揃いで新年を迎えたことでしょう。この議会だよりが皆さんに届くような頃には節分でしょうか。

昨年の暮れから暗いニュースばかり、特に経済不況は100年に1度の不況だそう。これからもっと心配な向きもあります。

豆まきは、邪気を祓うという意味があるそうです。出来ることならアメリカからやってきた不況の波を追っ払ってやりたいものです。

新大山町になって、もうすぐ4年、議員の任期もあと2ヶ月、この委員会での「議会だより」も最後になりました。

頑張ったつもりでも終わってみればもつとやれた筈だと思ふこの頃です。(寿)

《発行責任者》

議長 鹿島 功

《広報委員会》

委員長 西尾 寿博

副委員長 遠藤 幸子

委員 岡田 聡

委員 諸遊 壱司

委員 吉原美智恵

委員 近藤 大介